

ナッジ理論等を活用したがん検診受診率向上対策事業委託業務企画提案コンペに関する質問及び回答について

	質問内容	回答
1	本事業において、貴県が特に重視されている具体的な成果（例：がん種別受診率、対象年齢層ごとの受診率向上、地域間格差是正など）について、ご教示いただけますでしょうか。	当事業は、各市町の特徴にあわせた効果的な勧奨策や、検診環境の見直し策を助言・提案いただくことで将来的な部分も含め、県内各市町のがん検診の受診率向上を図るものです。
2	分析対象のがん種（胃・大腸・肺・子宮頸・乳）のうち、特に重点的に取り組むべきがん種や優先順位がございましたらご案内いただけますと幸いです。	市町のがん検診において、肺・大腸・胃がんの受診率が10%を下回っている状況です。一方で、分析の結果、改善が期待できるその他のがん種についても、助言・提案いただきたいと考えています。
3	各がん種における現時点での受診率（県全体およびモデル市町候補単位）と、達成を目指す目標値が設定されていればご共有いただけますでしょうか。	恐れ入れますが、モデル市町については、受託者の決定後に選定を行います。 県内市町の受診率については、県ホームページ「県内各市町におけるがん検診の実施状況」をご参照ください。 https://www.pref.mie.lg.jp/KENKOT/HP/000046659.htm （KPIの状況）令和6年度県政レポート 第3章 施策の取組 p.99 「2. KPI（重要業績評価指標）の達成状況と評価」をご参照ください。 https://www.pref.mie.lg.jp/ZAISEI/HP/m0036300108_00003.htm
4	成果報告時に求められる「効果」とは、こういったものを指すのか教えていただけますでしょうか。たとえば受診率の数値的变化ではなく、市町による広報資材改善などの定性的な成果も含まれるのか、貴県のお考えをお聞かせ願えますでしょうか。	受診率等の定量的な変化だけでなく、市町のがん検診の受診率向上に繋がる広報資材や検診環境の改善等の定性的なものも含むと考えております。
5	県内における、類似事例やナッジ施策（文言やデザイン等）を用いた受診勧奨に関して、効果的だった／効果が限定的だった施策の事例があれば、ご共有いただけますと幸いです。	市町によって取組の状況は様々であるため、受託者と協議の上、必要に応じて確認します。
6	郵送通知、LINE公式アカウント、ウェブサイトなど、県または市町が活用できる広報チャネルの種類や、使用にあたっての制約があればご教示いただけますでしょうか。	市町によって使用しているチャネル（広報、はがき、ウェブサイトなど）が異なるため、モデル市町決定後に確認のうえ、効果的な受診勧奨等を提案いただきますようお願いします。
7	モデル市町における住民の就業状況、世帯構成、高齢化率等の基本的な傾向について、統計情報などのご提供が可能であれば教えていただけますと幸いです。	人口動態統計等のオープンデータについて、ホームページ上でもすでに公開されているデータとなりますが、別途お渡しすることも可能です。その他のデータについては、モデル市町とも協議のうえでご提供します。
8	仕様書にはモデル市町は「3以上」とございますが、現時点での想定数、または最大数の見込みについて可能な範囲でお伺いできますでしょうか。	3～4市町程度が想定されますが、今後市町との協議により決定します。
9	契約締結後の業務進行（データ受領～分析～助言～報告）に関するおおまかなスケジュールをご案内いただけますでしょうか。特に分析作業に充てられる期間を把握できれば幸いです。	モデル市町のデータを提供できるタイミングによるところがあるため、明示することは難しい点がありますが、契約締結後、データ受領・加工と並行して市町の検診体制等を把握いただき助言を実施し、令和8年1～3月頃の市町向けの説明会において報告していただく流れになります。
10	本事業において、特に重視される評価項目があればご示唆いただけますと幸いです。	評価項目における評価配分は以下のとおりです。 ・目的適合性（×4） ・業務遂行性（×3） ・提案力（×6） ・専門性（×6） ・経済合理性（×1）